



1 配属先への派遣と一人暮らしのスタート

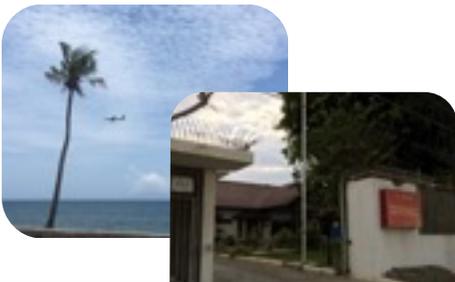
東ティモールは11月から雨季に入りました。11月中旬から毎日のように夕方から夜にかけて雨が降り、しかも土砂降りが多いです。夕方からの雨は、職場からの帰宅時間と重なり、何度かずぶ濡れになりながら帰宅しています。

11月からは、いよいよ活動開始。配属先での活動と、一人暮らしの新生活が始まりました。



子どもたちの笑顔が最高

2 配属先の様子



配属先の外観と
道路を挟んでキレイな海

10月半ば過ぎの、初めてのミッションで配属先への挨拶に一人で行きました。その時、英語、インドネシア語、テトゥン語でのコミュニケーションが難しく、「次は誰かわかる人と一緒に来て」と言われ、一時はどうなるかと思っていましたが、すぐに溶け込むことができ、色々と教えてもらっています。

(1) 配属先

配属先は教育文化省芸術文化総局です。ここでは伝統的な工芸品やお祭りの時に踊るダンスなどの文化的なもの

を取り扱っています。

職場の仕事はあるときとないときではっきり分かれているらしく、今はみんな忙しくないようで、私のテトゥン語の勉強に付き合ってくれます。

上司からは、君の仕事は沢山あると言われていています。その中の一つが現地語であるテトゥン語を覚えることだ！と言われており、少しずつですが、習得できると信じています。



執務室には大きな絵と
写真が飾られている



同僚は若い人が多い



熱心に業務を説明してくれる
同僚パウロ

(2)勤務時間

東ティモール(教育文化省)と日本(K市役所)の勤務時間について比較してみました。特徴は朝が早いこと、昼休みが長いことと残業がないことです。合計すると日本の方が1日で45分勤務時間が長いようです。

勤務時間の比較

	東ティモール(教育文化省)	日本(K市役所)	比較
午前	8:00~12:00	8:30~12:00	日本の方が0:30短い
昼休み	12:00~14:00	12:00~13:00	日本の方が1:00短い
午後	14:00~17:00	13:00~17:15	日本の方が1:15長い
休日	土、日曜日、祝日	土、日曜日、祝日	合計すると日本の方が1日で勤務時間が0:45長い

昼休み時には同僚はみんな家に帰ります。家族を大切にする東ティモール人は、家で家族と一緒に食事をとります。

ちなみにこの時間は東ティモール時間です。みんな30分程度は遅れるのも文化の違いでしょうか。私はこの違いには、すぐ馴染むことができました。

(3)コンクールの入賞作品の選定



たくさんのエントリーと作品を選定している様子

私の配属先で、三菱アジア子ども絵日記フェスタのコンクールの入賞作品の審査会がありました。

この日は、途中から雨が降ってましたが、中庭に作品を並べて、スタッフが良いと思った作品に順番をつけた付箋をつけて選定していきました。

このコンクールはアジア約25カ国が参加し、日本の文化である絵日記を通して、お互いの生活や文化への理解をより深めることを目的に行っている事業で、各国のグランプリに選ばれると日本に招待されます。



3 一人暮らしの生活

10月のドミトリーでの生活期間中に、11月から自分が住む家を探しました。最初は職場の近くでホームステイを希望していましたが、なかなか家を探すことができず、先輩隊員の助けをもらいながら、一人暮らしのアパートに決定し、契約することができました。

家の周りは賑やかで、隣接した食堂や大家さん、お隣さんが買っている犬、猫、鳩、ニワトリの他にも小動物出現し、最初の一週間は家にも全く落ち着かず、ドミトリーでの生活が懐かしく感じました。《第2号終わり》



この鉄格子の奥が自分が住んでいる家